

### 3 財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記  
該当なし

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 引当金の計上基準  
職員の退職給付の支給に備えるため、事業年度末における要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理  
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高  
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
岐阜県緑の基金積立資産 第11回 利付国債（30年）	244,261,950	142,854	0	244,404,804
小計	244,261,950	142,854	0	244,404,804
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
運営資金積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
緑の募金事業等準備金	3,000,000	8,000,000	3,000,000	8,000,000
小計	8,000,000	8,000,000	3,000,000	13,000,000
合計	252,261,950	8,142,854	3,000,000	257,404,804

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳  
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
岐阜県緑の基金積立資産 第11回 利付国債（30年）	244,404,804	(244,404,804)		
小計	244,404,804	(244,404,804)	0	
特定資産				
退職給付引当資産	0			0
運営資金積立資産	5,000,000		(5,000,000)	
緑の募金事業等準備金	8,000,000	(8,000,000)		
小計	13,000,000	(8,000,000)	(5,000,000)	0
合計	257,404,804	(252,404,804)	(5,000,000)	0

5 担保に供している資産  
該当なし

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	430,920	174,108	256,812
合計	430,920	174,108	256,812

7 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
該当なし

8 保証債務等の偶発債務  
該当なし

9 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第11回利付国債(30年)	244,404,804	284,616,342	40,211,538
合計	244,404,804	284,616,342	40,211,538

10 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
森林愛護少年団育成事業 開催費	岐阜県	0	51,085	51,085	0	
緑と水の森林ファンド 事業助成金	(公社) 国土 緑化推進機構	0	2,180,000	2,180,000	0	
学校環境緑化モデル事業 事務委託費	(公社) 国土 緑化推進機構	0	50,000	50,000	0	
子どもたちの未来の森づ くり事業事務委託費	(公社) 国土 緑化推進機構	0	100,000	100,000	0	
学校林現況調査事務委託 費	(公社) 国土 緑化推進機構	0	80,000	80,000	0	
みどりの少年団活動助成金	(公社) 岐阜 県山林協会	0	350,000	350,000	0	
第45回東海地区みどりの少年 団サマージャンボリー開催費	(公社) 国土 緑化推進機構	0	187,000	187,000	0	

11 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的使用による振替	55,745,941
合計	55,745,941

12 関連当事者との取引の内容  
該当なし

13 重要な後発事象  
該当なし